

2. ウォーミングアップ時の競技場開放時間を変更しました

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. ウォーミングアップについて

①大会当日の練習については、7:30～8:30まで競技場内での練習を認める。また、雨天走路及び競技場北西部にある直走路を各自使用すること。ただし、雨天走路はストレッチ・ドリル程度の使用とし、スパイクを履いての走行は禁止とする。直走路は混み合う可能性があるため、練習の際は怪我・事故等のない様に細心の注意を払うこと。主催者は一切責任を負わない。

②投てき練習、跳躍練習は競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。

③芝生を使った練習は禁止する。

④競技中、練習場所確保のため競技場のバックストレートを開放する。競技の妨げにならないよう、開放中であっても使用については審判の指示に従うこと。また、開放時間の詳細は追って連絡する。

3. 招集について

①トラック種目は第1ゲート（100mスタート）側器具庫に設け、フィールド種目は現地招集とする。

②招集開始時刻および招集完了時刻は、プログラムの競技日程に記載する。

③2種目以上を同時刻に兼ねて出場する場合には、他種目同時出場届（招集所に用意）に記入して招集所（競技者係主任）に提出すること。

④リレー競技はオーダー用紙（招集所に用意）に1チームにつき1部記入して、**招集完了時刻 1時間前まで**に招集所（競技者係主任）に提出すること（リレー競走についてはTR 24を参照のこと）。

リレー競技の申込のときのチーム編成は原則として6人だが、その競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。

⑤招集完了時刻に遅れたものは、欠場として処理する（当該種目のみ）ので十分注意すること。

⑥シューズ検定については、審判長および競技役員が疑義を抱いた場合、検査を実施する。

⑦競技場規則TR 6により、スマートフォンなどの機器を競技場に持ち込む

ことはできない。

⑧競技者の準備が整った場合、競技開始時刻よりも前に競技を開始する場合がある。

4. アスリートビブスについて

①アスリートビブスは各自で準備すること。大学生は 2025 年度に本連盟が配布したビブスを使用し、一般および高校生はエントリーの際に入力した登録陸協ナンバーのビブスを使用すること。なお、3000m以上の競技については、招集係より配布されたレーンナンバーの特別ナンバーカードビブスを使用すること。特別ナンバーカードビブスは招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に受け取りに来ること。

②跳躍種目については、胸、背の一方だけでよい。

③トラック競技に出場する競技者は、招集所にて配布する腰ナンバーカードをパンツの右横やや後方に取り付けること。

5. フィールド競技について

①フィールド競技における持ち時間は、日本陸上競技連盟競技規則 TR 25. 17 に準じて行う。

②走幅跳及び三段跳は、Aピット・Bピットの二つのピットで行う。また、三段跳は踏切板の位置を変えて行う場合がある。三段跳において、Aピットは踏切板から砂場の近い方の端までの距離を男子は11m、Bピットは10m、女子は8mとり、競技を行う。ただし、競技者レベルに合わせて審判長が判断し、男女ともに砂場までの距離を変更する場合がある。

③走高跳・棒高跳において、日本陸上競技連盟競技規則 TR 26. 8 に則ってもなお順位が決定しなかった場合には、ジャンプオフは行わず、同成績により第1位とする。

④走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6
走高跳	男	注1	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60
	女		1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40
棒高跳	男		3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00
	女		1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80

注1 男女走高跳及び棒高跳の記録は幅があるため、練習並びにバーのあげ方は審判との調整で決定する。

※記載の高さ以降は、走高跳はそのまま 5cm ずつ、棒高跳は 10cm ずつ上げる

こととする。

- ⑤男子砲丸投・円盤投・ハンマー投に関しては、一般・大学及び高校で重量が異なるので、重量別に競技を行う。
- ⑥長さの跳躍及び投てき競技の試技は3回とする。
- ⑦フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。

6、競技用器具について

- ①競技用器具は競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではない。ただし、棒高跳用ポールに限り個人のものを使用することができる。
- ②競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投では12mm以下のものを使用すること。また、競技シューズについては、800m以上の種目では靴底の厚さは20mm以下のものを使用すること。

7、抗議について (TR 8 参照)

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、または代理人より結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に、担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金1万円を添えて上訴審判員に上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

8、スタートについて

- ①不正スタートを行った場合、ただちに競技者は失格となる。
- ②不適切行為を行った場合、1回目は警告で留めるが、同一の競技者が2回目以降（別種目においても）同様な行為を行った場合それぞれ不正スタートを行ったものとして扱うので、注意すること。

9、その他

- ①競技者の付き添いは一切認めない。従って競技者以外は、トラックならびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ②大会期間中、競技者は本部前の通行を禁止する。
- ③ユニフォームは各団体が審判員が同一チームと判断できるものを着用すること
- ④各所属の共用荷物の保管場所は、必要最小限に留め、個人的に場所を確保すること。雨天走路、更衣室を待機場所としての使用は禁止とする。また、その他、待機場所を制限することがあるので係の指示に従うこと。
- ⑤ゴミは各自持ち帰ること。
- ⑥競技場及び周辺施設の器具などを破損した場合はその団体から弁償代を徴収する。

⑦開門・閉門時間は以下の通りとする。

	(開門時間)	(閉門時間)
大会前日……………4月4日(金)	14:00	17:00
第1日目……………4月5日(土)	7:30	18:00
第2日目……………4月6日(日)	7:30	17:00

⑧集団応援の場所はバックスタンド・サイドスタンドで行い、メインスタンドでは行わないこと。

⑨主催者は競技中の発病・負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。ただし、2025年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。